

2018年度 環境経営レポート



発行年月日 2019年 10月 30日

レポート対象期間 2018年 8月 ~2019年 7月

株 式 会 社 ミ ヤ プ ロ

環境経営レポートの記載要領

目 次

1. 組織の概要
2. 環境経営方針
3. 環境経営管理組織体制
4. 製造フロー
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画
7. 環境経営教育
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営計画の具体的な取組
10. 環境経営計画の取組結果とその評価
11. 次年度の環境経営目標
12. 次年度の環境経営計画の取組内容
13. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
14. 代表者による全体評価と見直し

発行日： 2019年 10月 30日

発行責任者：環境経営管理責任者 安野秀樹

次回発行予定： 2020年 9月末

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社ミヤプロ

【代表者氏名】 代表取締役 宮崎 佳昭

【所在地】 本 社 香川県高松市朝日新町16番19号
東京営業所 東京都港区元赤坂1-1-7
オリエント赤坂モートサイド805
東 営 業 所 香川県さぬき市大川町富田西1206番地4

【環境経営管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境経営管理責任者氏名 製造部 部長 安野 秀樹
連絡先担当者 製造部 部長 安野 秀樹
連絡先 TEL : 087-851-0515 / FAX : 087-851-5666

【事業活動の内容についての簡単な記述】

印刷・製版、ICT事業
企画、デザイン、印刷、ICT・ホームページ・マルチメディアコンテンツ
CG事業・受信代行業務

【事業規模】

設立年月日 1976年12月
資本金 2,400万円
主要製品の生産量・出荷額（売上高） 3億1,498万円（2019年度）
事業年度 8月～7月

	本社	東京営業所	東営業所
従 業 員	21名	3名	1名 [※]
延 べ 床 面 積	1,176.05㎡	25.88㎡	54㎡

※本社兼任

【対象範囲（認証・登録範囲）】 全社・全活動

【プライバシーマーク】

2006年10月1日
2018年10月10日

認証取得
更新



【CSR】

2013年6月25日
2015年6月29日
2019年6月26日

ワンスター認証取得
ツースター認証取得
ツースター更新



CSRとは、全日本印刷工業組合が制定した認定制度。①コンプライアンス②環境③情報セキュリティ④品質⑤雇用・労働安全⑥財務・業績⑦社会貢献・地域志向⑧情報開示・コミュニケーションの8項目で評価。この8項目をクリアできた企業が、認定を受けることができる。第二弾として、ツースターの認定を受けた。

2. 環境経営方針

【ビジョン】

製版、印刷分野では現在まで培ってきた技術と品質をもとにさらなる信頼を得て、ICTを駆使して常に最良で高品質なサービスを提供出来るソリューションプロバイダーを目指し、事業活動を通じて、豊かな社会と環境保全の両立に寄与していくため、私たちは環境にやさしい優れた商品の開発・製造に努めます。

【基本方針】

1. 環境負荷の低減を図る為、以下のことに取り組みます。
 - ①車両燃料使用量削減、電力使用量削減による二酸化炭素排出量の削減
 - ②廃棄物の削減とリサイクル化の推進
 - ③用水使用の節水
 - ④大切なお客様のお役立ちに取り組む
2. 関連する環境の法規制及びその他の要求事項を遵守します。
3. P R T R法対象薬品の使用方法及び管理において、法令に遵守します。
4. 環境負荷の低減目標や運用計画は、定期的に見直し継続的な活動に取り組みます。
5. 従業員に対し、朝礼・会議を通じて、環境経営方針・環境経営計画などについての周知徹底を図ります。

※この環境経営方針は、全従業員に周知徹底を図るとともに、HP等で社内外に公表する。

制定日：2012年10月9日

改定日：2019年7月16日

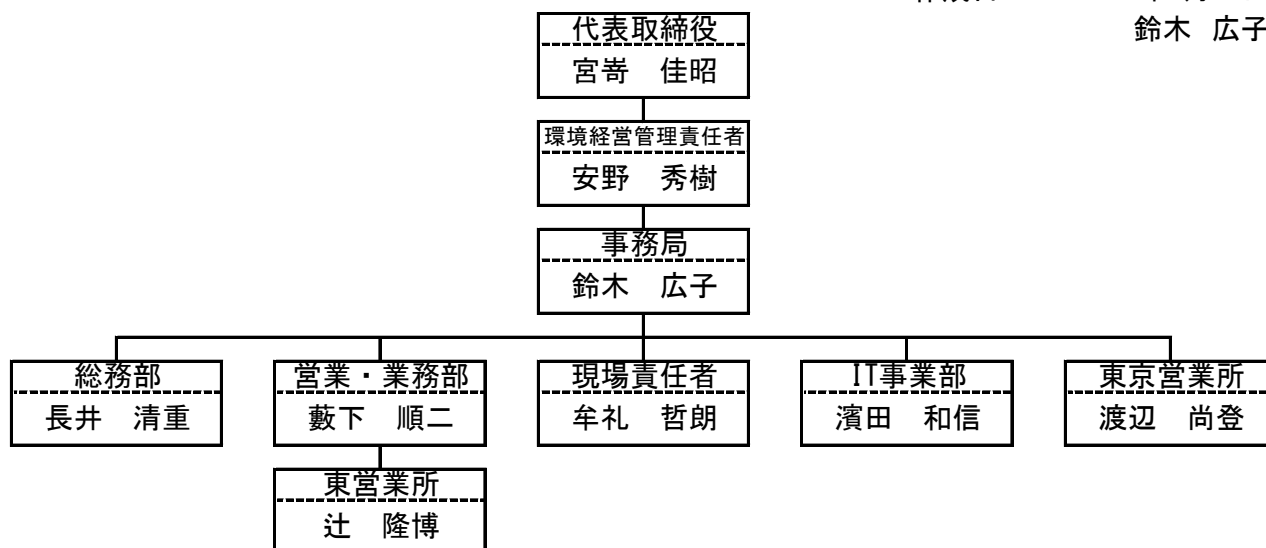
香川県高松市朝日新町16-19

株式会社ミヤプロ

代表取締役 宮崎佳昭

3. 環境経営管理組織体制

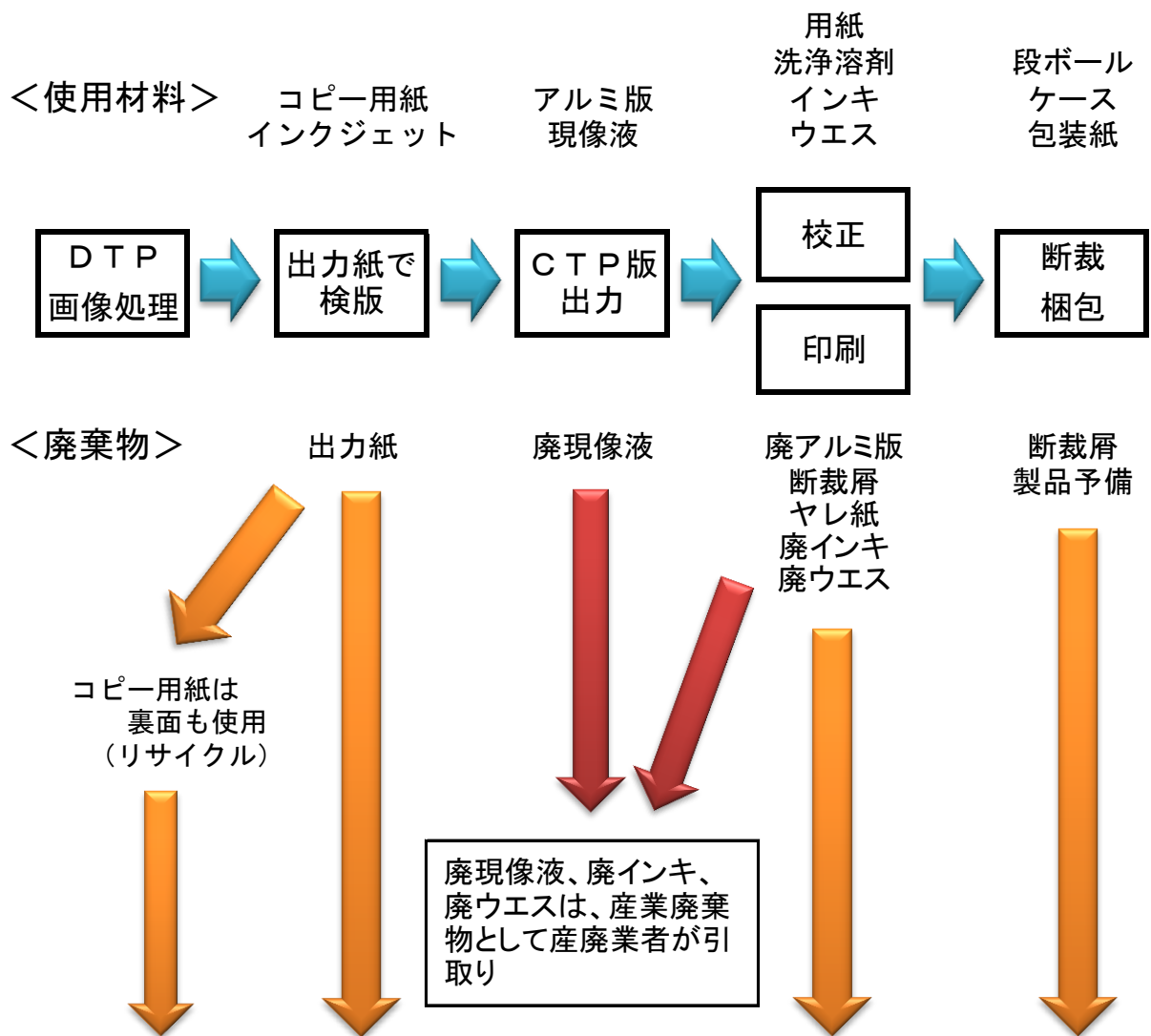
作成日 2019年7月16日
鈴木 広子



環境経営管理システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境経営管理責任者を任命 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 全従業員に対する教育・訓練の実施 環境経営目標、環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートを確認し、承認 環境関連法規等取りまとめ表の承認 緊急事態への対応マニュアルを確認し、承認
環境経営管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境経営目標、環境経営計画書を確認 環境経営の取り組み結果を代表者に報告 環境経営レポートの確認 環境経営計画の実施及び達成状況の承認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営管理責任者の補佐 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境経営目標、環境経営計画書を作成 環境経営レポートの作成 環境経営計画の実施及び達成状況の確認 緊急事態への対応マニュアル作成
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の確認 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実地
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営へ参加

4. 製造フロー



- ・紙類はリサイクル用古紙として、古紙回収業者へ売却
- ・廃アルミ版は廃版業者へ売却

5. 環境経営目標

(1) 単年度目標

2017年度を基準に、1%の改善を目標とする

	2017年度 基準値 2017.8 -2018.7	2018年度 目標 2018.8 -2019.7
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	112,390
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,487
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	147,641
用水使用量 (m ³)	259	259
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.64
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24

(2) 中長期目標

2017年度を基準に、毎年1%ずつ改善を目標とする

	2017年度 基準値 2017.8 -2018.7	2018年度 目標 2017年度比	2019年度 目標 2017年度比	2020年度 目標 2017年度比
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	112,390	111,255	110,119
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,487	10,381	10,275
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	147,641	146,149	144,658
用水使用量 (m ³)	259	259	259	259
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.64	11.53	11.41
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79	17.79	17.79
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24	24	24

※1：業務で発生する廃棄物の内、古紙（紙類）排出量を除く一般廃棄物と産業廃棄物の排出量削減に取り組む

*1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 調整後排出係数（2017年度実績）（2018年12月公表）のテプコカスタマーサービスの実調整後排出係数(0.596kg-CO₂/kWh)を使用した。

*2. 東営業所は営業戦略上、拠点としておいているが常在していない。電気、水は含まず。

6. 環境経営計画

期間： 2018年 8月 ～ 2019年 7月

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブの励行 ^{※1} ○タイヤ空気圧の点検 ^{※1}	辻
	電力使用量 削減	○不要な照明・機器の電源を消す ^{※2}	安野
用水使用の節水		○節水呼びかけ	鈴木
廃棄物削減		○紙の裏面の再利用 ^{※2} ○リサイクルできるものとの分類	鈴木
化学物質の適正管理		○使用方法及び管理の徹底	牟礼
大切なお客様のお役立ちに取り組む		○ミヤプロのCO ₂ 排出量削減への取り組みを紹介。コスト削減への手助けにしてもらう	鈴木

※1：東営業所でも同様に取り組む

※2：東京営業所でも同様に取り組む

7. 環境経営教育

期間： 2018年 8月 ~ 2019年 7月

2019年6月3日 高松海上保安部 朝日新町地区一斉清掃



未来に残そう青い海！
朝日新町地区一斉清掃
日時：令和元年6月3日（月）
午前9時30分から
午前10時30分まで
※少雨決行
場所：朝日新町地区内の歩道等
内容：海岸や道端に落ちたごみの回収
その他：軍手、ごみ袋は用意します。
熱中症対策は各自お願いします。
問合せ：高松海上保安部警備教養課
TEL087-821-7011
参加を待っています！
海上保安庁

海ごみゼロ
日本の海のために今できることは。
日本 CHANGE WITH THE BLUE 海保本部 BLUE 環境省 Plastics Smart

2019年6月22日 避難・消防訓練、心肺蘇生処置訓練



こんなときにはすぐに119番!!

救急 火災 警察 119番 救急電話 救急車 救急隊 救急隊員 救急隊員 救急隊員

このような場合はすぐに119番!!

救急 火災 警察 119番 救急電話 救急車 救急隊 救急隊員 救急隊員 救急隊員

どうすればいいかわからない場合は、119番の緊急電話相談
電話番号 087-812-1055
毎日午後7時から翌朝5時まで

119番 緊急 救急 救急車 救急隊 救急隊員 救急隊員 救急隊員

1 応急手当の重要性

救急隊が到着するまでの間に、傷病者の命を救うことが重要です。応急手当は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の命を救うことが重要です。応急手当は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の命を救うことが重要です。

救命の連鎖

1 心停止の予防
2 心停止の早期発見と通報
3 一次救命処置（心肺蘇生とAED）
4 二次救命処置と救急隊との連携

8. 環境経営目標の実績

(1) 単年度目標とその実績

項 目	2017年度 基準値 2017.8 -2018.7	2018年度 目標 2018.8 -2019.7	2018年度 実績 2018.8 -2019.7	評価
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	112,390	96,933	○
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,487	9,423	
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	147,641	125,900	
用水使用量 (m ³)	259	259	330	×
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.64	13.83	×
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79	14.12	○
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24	70	○

【コメント】

- ・ CO₂発生量に関して
クリアできている。2018年6月末に、社内全ての蛍光灯をLEDに変えたことが要因と考えられる。引き続き目標達成できるようにしていきたい。
- ・ 用水使用量に関して
かなり多くなってしまった。要因として、自動現像機に紙が混入。中の薬品を全て抜き、水で満たし循環させ、詰まった紙を取り除くという作業を数日に渡り繰り返し行った。また、トイレタンクのレバーの不具合により、水が夜通し流れ続けることが何度かあった。いずれにしても、目標値を維持できるように節水に取り組みたい。
- ・ 廃棄物発生量に関して
増えてしまった。不要となったトムソン版の廃棄の為、2t用のコンテナを設置した。それだけが要因ではないが、引き続き廃棄物発生量を減らせるよう、取り組んでいきたい。
- ・ 化学物質排出量に関して
現状維持を目標としているが、減らすことができた。紙粉の出やすい紙を使用する仕事が多ければ、比例して薬品を使用する量も増えてくる。仕事に左右されるが、引き続き、現状維持できるよう取り組んでいきたい。
- ・ 大切なお客様のお役立ちに取り組む
お客様へミヤプロのCO₂排出量削減への取り組みを紹介した結果、LED化されたお客様もいる。

(2) 中長期目標とその実績

(3年間)

	2017年度 基準値 2017.8 -2018.7	2018年度 目標 2018.8 -2019.7	2019年度 目標 2019.8 -2020.7	2020年度 目標 2020.8 -2021.7
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	112,390	111,255	110,119
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,487	10,381	10,275
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	147,641	146,149	144,658
用水使用量 (m ³)	259	259	259	259
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.64	11.53	11.41
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79	17.79	17.79
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24	24	24

※1：業務で発生する廃棄物の内、古紙(紙類)排出量を除く一般廃棄物と産業廃棄物の排出量削減に取り組む

*1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂調整後排出係数(2017年度実績)(2018年12月公表)のテプコカスタマーサービスの実調整後排出係数(0.596kg-CO₂/kWh)を使用した。

*2. 東営業所は営業戦略上、拠点としておいているが、常在していない。電気、水は含まず。

9. 環境経営計画の具体的な取組

【1】CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減

【自動車に関して】

1. 社用車を使用する際、エコドライブを常に心がける^{※1}
2. 定期的にタイヤの空気圧を点検する^{※1} ※1：東営業所も同様に取り組む

(2) 電力使用量削減

【照明・生産設備に関して】

1. 未使用時には、照明、OA機器、断裁機、折り機等の電源をOFFにする^{※2}
2. 倉庫・トイレは常時消灯^{※2} ※2：東京営業所も同様に取り組む

2011年 1月：本社事務所に「デマンド装置」を配置。

2017年 7月：電力購入会社を「藤田産業」に。

2017年10月：事務所の蛍光灯6本をLEDに。

2018年 6月：事務所、現場の蛍光灯をLEDに。大型エアコン2台を省エネタイプに。

2018年 6月：電力購入会社を「テプコカスタマーサービス」に。社内の蛍光灯全てをLEDに。

【空調に関して】

1. 冷暖房の温度を、夏期27℃、冬期20℃前後に設定する（事務所）
※現場の場合、機材の関係上、温度設定が難しい

【2】用水使用の節水

1. 節水を呼び掛ける

【3】廃棄物削減

1. コピー用紙の裏面の再利用^{※3}
2. ヤレ紙の再利用（現場）
3. リサイクルできるものとの分類 ※3：東京営業所も同様に取り組む

【4】化学物質の適正管理

1. P R T R対象薬品の適切な使用方法及び管理を徹底する

★廃液削減装置の導入（2013年4月）

廃液を煮詰め、真水と廃棄物に分ける。約1/8の量に減らすことができる。

【5】大切なお客様のお役立ちに取り組む

1. お客様へ、ミヤプロのCO₂排出量削減の取組を紹介。コスト削減の手助けとしていただく。

【6】その他

1. 2016年4月より、印刷用のインキを速乾性インキ^{※4}に変更。
パウダースプレーの使用量を半減させることができる。 ※4：DICフュージョンGMK

10. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2018年 8月 ～ 2019年 7月

項目		活動内容	2017年度 2017年8月 ～2018年7月	2018年度 2018年8月 ～2019年7月	取組結果	評価
CO ₂ 排出 量削減	燃 料	ガソリン使用量 (L)	10,593	9,423	対2017年度比 89.0 %	○
		○エコドライブの励行 ○タイヤ空気圧の点検			エコドライブできている。 また、タイヤの空気圧も1カ月に一度は点検できている。	
	電 力	電気使用量 (kWh)	149,132	125,900	対2017年度比 84.4 %	○
		○不要な照明・機器の電源を消す			不要な電気を、こまめに消すことができている。 また、2018年6月に社内全ての蛍光灯をLEDに変えたことにより、かなり電気使用量を削減することができている。	
用水使用の節水	水使用量 (m ³)	259	330	対2017年度比 127.4 %	○	
	○節水呼びかけ			自動現像機の紙詰まりを取り除く為の清掃。トイレタンクのレバーの不具合により水が夜通し流れ続けるなど、それだけが要因ではないが使用量がかかなり増えた。増えてはいるが、社員一同、節水への取り組みはできている。		
廃棄物削減	廃棄物排出量 (t)	11.76	13.83	対2017年度比 117.6 %	○	
	○紙の裏面の再利用 ○リサイクルできるものとの分類			紙の裏面の再利用、リサイクルできるものとの分類は無理なくできている。		
化学物質の適正管理	化学物質排出量 (kg)	17.79	14.12	対2017年度比 79.4 %	○	
	○使用方法及び管理の徹底			適正管理できている。		
大切なお客様のお役立ちに取り組む	紹介件数 (件)	-	70	対2017年度比 - %	○	
	○お客様へミヤプロのCO ₂ 排出量削減の取り組みを紹介			お客様へ紹介できている。 紹介したことにより、LED化された会社もある。		

1.1. 次年度の環境経営目標

(1) 単年度目標

2017年度を基準に、2%の改善を目標とする

	2017年度 実績 2017.8 -2018.7	2019年度 目標 2019.8 -2020.7
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	111,255
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,381
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	146,149
用水使用量 (m ³)	259	259
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.52
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24

(2) 中長期目標

2017年度を基準に、毎年1%ずつ改善を目標とする

	2017年度 実績 2017.8 -2018.7	2018年度 目標 2017年度比	2019年度 目標 2017年度比	2020年度 目標 2017年度比
CO ₂ 発生量 (kg-CO ₂)	113,525	112,390	111,255	110,119
┌ ガソリン使用量 (L)	10,593	10,487	10,381	10,275
└ 電力使用量 (kWh)	149,132	147,641	146,149	144,658
用水使用量 (m ³)	259	259	259	259
廃棄物発生量 ^{※1} (t)	11.76	11.64	11.53	11.41
化学物質排出量 (kg)	17.79	17.79	17.79	17.79
大切なお客様のお役立ちに取り組む (件)	-	24	24	24

※1：業務で発生する廃棄物の内、古紙（紙類）排出量を除く一般廃棄物と産業廃棄物の排出量削減に取り組む

*1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 調整後排出係数（2017年度実績）（2018年12月公表）のテプコカスタマーサービスの実調整後排出係数(0.596kg-CO₂/kWh)を使用した。

*2. 東営業所は営業戦略上、拠点としておいているが常在していない。電気、水は含まず。

12. 次年度の環境経営計画の 取組内容

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブの励行 ^{※1} ○タイヤ空気圧の点検 ^{※1}	辻
	電力使用量 削減	○不要な照明・機器の電源を消す ^{※2}	安野
用水使用の節水		○節水呼びかけ	鈴木
廃棄物削減		○紙の裏面の再利用 ^{※2} ○リサイクルできるものとの分類	鈴木
化学物質の適正管理		○使用方法及び管理の徹底	牟礼
大切なお客様のお役立ちに取り組む		○ミヤプロのCO ₂ 排出量削減への取り組みを紹介。コスト削減への手助けにしてもらう	鈴木

※1：東営業所でも同様に取り組む

※2：東京営業所でも同様に取り組む

1 3 . 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	当社の順守内容	担当者	遵守状況
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法 (P R T R 法)	・ 使用している化学物質すべての S D S を管理し、取扱上の注意点を認識する ・ 使用している化学物質の使用量を記録する	牟礼	○
		鈴木	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	【一般廃棄物】 ・ 廃棄物の再利用等により減量化に努める 【産業廃棄物】 ・ 管理票 (マニフェスト) を管理、5年間保管する ・ 産業廃棄物の委託契約書を管理、保管する ・ 毎年、6月末までに状況報告書を都道府県知事へ提出する	鈴木	○
フロン排出抑制法	・ 業務用エアコンを廃棄する際は、フロン類回収事業者に引き渡し、回収破壊費用を負担する ・ フロンを含有する機器は、3か月に一度担当者が点検を実施し、その記録を保管する	安野	○
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	・ 対象となる特定家電 (テレビ / 冷蔵庫 / エアコン / 洗濯機 / 衣類乾燥機) を廃棄する際、適正に引き渡し、リサイクル費用を支払う	安野	○
香川県環境基本条例	公害防止、環境への負荷の低減のために必要な措置を講じる	安野	○
香川県放置自動車の処理に関する条例	勤務時間外は敷地内に適切に管理し、使用時は所定の駐車場所へ駐車する	安野	○
みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例	県が実施する緑化の推進とみどりの保全に関する施策に協力するよう努める	鈴木	○
香川県生活環境の保全に関する条例	・ 地球温暖化の理解を深め、自動車による C O ₂ の排出を抑制する為、エコ運転を励行する ・ アイドリングストップの励行 ・ 事業所にて発生する廃棄物の減少に努め資源の有効利用を図ると共に、電気の使用量を削減し省エネルギー活動を推進する	辻	○
		安野	○
高松市環境基本条例	廃棄物を適正に処理する	安野	○
高松市環境美化条例	容器包装の再資源化促進及びたばこの吸い殻等の散乱防止について、従業員の意識の啓発を図る	安野	○
高松市廃棄物の適正処理及び再生利用の促進に関する条例	周辺の清掃を行い、清潔を保ち、みだりに廃棄物が投棄されないよう管理する	鈴木	○

※上記の条例全ての遵守状況は、2019年10月18日に確認をした。

遵守の場合は、「○」と記載する。

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

過去3年間において、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情はありませんでした。

14. 代表者による全体評価と見直し

項 目	評 価 ・ 見 直 し
環境マネジメントシステムについて	<p>目標に達している項目と達していない項目があり、要因が明確につかめていないものは要因を探り目標達成に努めたい。</p>
環境パフォーマンス評価	<p>CO₂に関しては、2018年6月に全館LED化と古い大型エアコンを変えたため大きな成果が出ている。引き続き節電に取り組みたい。ガソリン使用量もエコ・ドライブを心がけ目標を達成している。</p> <p>水の使用量は、自動現像機清掃での使用や女子トイレの度重なるタンクレバーの不具合などで排水量が多くなってしまった。できるだけ使用量を抑えるよう心がけたい。</p> <p>廃棄物に関しても増加している。トムソン型を置いている倉庫の整理をおこなったことが要因でもあるができるだけ減らしたい。</p> <p>化学物質排出量は目標よりも減らすことができている。UV装置を導入したがきちんと管理されている結果が見える。</p> <p>大切なお客様のお役立ちについては、LED化の推奨や電力会社の見直しの紹介など幅広く紹介することにより、連携したエコ環境づくりに役立っている。</p>
その他	<p>これまでの取り組みをSDGsにもあてはめ、国連が推奨するSDGsの取り組みにも繋げていきたい。</p> <p>印刷、製版の受注量が減っているがイベントやIT関連の受注で紙の生産からコンテンツ制作の仕事に変わっている。</p>